

令和6年度 比治山大学 卒業証書学位記・修了証書授与式 学長告辞

卒業生、修了生の皆さん、本日は誠におめでとうございます。春の確かな息吹が感じられる今日このよき日に、学部卒業生303名、短期大学部卒業生170名、専攻科修了生10名、大学院修了生8名、計491名に卒業証書、修了証書を授与できましたこと、たいへん嬉しく思います。

皆さんをこれまで励まし、支えてこられたご家族やご親族、関係者の皆さまも、たいへんお喜びのことと存じます。本学を代表して心より感謝とお祝いを申し上げます。

また、卒業生、修了生の新たな門出を祝福するためにご多用の中ご臨席いただきました、比治山学園理事長木谷健様をはじめ、来賓の皆様には厚くお礼を申し上げます。

学部を卒業される皆さんが入学された4年前は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、大学での生活がさまざまな側面で制限される状況でした。大学院、専攻科、短期大学部を修了、卒業される皆さんも、高校で、大学で大変な苦労や我慢をされてきたことと思います。そのような中で、くじけることなく、苦境を乗り越えて今日の日を迎えられた皆さんの努力に、心から敬意を表します。

皆さんが卒業、修了後に進まれる道、目指される目標は、それぞれ異なります。しかし、多くの皆さんに共通しているのは、将来への希望や期待と同時に、おそらく決して小さくない不安も感じておられることだと思います。ウクライナやガザ地区で起こっていることに限らず、世界中で頻発するさまざまな紛争には心が痛みます。世界規模の異常気候や地震等による災害も心配です。また、AIの急速な進化により、私たち人類の存在価値そのものが問われる状況になっています。今までのやり方や常識、知識が通用しない場面がますます増加するであろう今後の社会において、皆さんが大学で学んできたことの中には、そのうち古びたり、役に立たなくなったりするものがあるかもしれません。

それでも、皆さんが、比治山大学で、共通教育や専門教育、あるいは自分自身の研究を通じて身に付けてきた力は、決して無駄になることはありません。「比治山力」という言葉を、何度も何度も繰り返し聞いてこられたと思います。「自立」「想像（イマジネーション）」「共生」「創造（クリエーション）」の4つのキーコンピテンシーと12の具体的スキルで表現される比治山力は、まさに変化の激しい時代、予測が困難な時代をより良く生き、幸せな人生を送るために必要な力です。もしかしたら、自分では気が付いていないかもしれませんが、皆さんはこれらの基本的力を、本学ですでに獲得されています。今後さまざまな困難に直面されることと思いますが、どうか皆さん、自信をもってそれを乗り越えていってください。

社会の変化に気づくこと、そして社会のさまざまな動きに積極的に関与し、世代や立

場、考え方の異なる多様な人や組織と一緒に課題を見つけ、解決していくこと。それによってより良い社会を作り、それと同時に自分も成長していくこと。これは、本学の建学の精神である「悠久不滅の生命の理想に向かって精進する」ことに他なりません。

比治山大学で学んだ皆さんには、幸せな人生を送っていただきたいと思っています。そのためには、恐れず行動してください。「精進する」とは行動するということです。失敗してもいいので、さまざまなことにチャレンジしてください。

繰り返しになりますが、そのために必要な「学び続ける力」、「チャレンジする意欲」などはすでに身に付けておられます。皆さんのこれからの活躍を期待しています。

皆さんは、本日、比治山大学を巣立っていかれます。しかし、これからも、比治山ファミリーの一員であることを是非覚えておいていただきたいと思います。本学の教職員全員、これからも、皆さんを応援し続けます。

巣立っていく皆さんが健康で、これからも比治山大学での体験を活かして不断に学び続け、希望に満ちた明るい未来を切り拓かれることを願って、餞（はなむけ）の言葉といたします。

令和7年（2025年）3月19日

比治山大学・比治山大学短期大学部
学長 宮谷 真人